

選挙事務効率化に電子投票を提案。 デモンストレーション会が実現しました

公明党 鈴木ひでし

職員の削減や開票時間短縮に期待

今年2月の県議会本会 電子投票は以前、機器トラブルが発生したこと
議の一般質問において、 トラブルが発生したこと 投票システムに触れるこ
私が「選挙事務の効率化 などから、導入が進みま とでその仕組みや運用方
につながる電子投票導入 せんでした。国がシステ 法についての理解を深め
について研究や検討を進 ムの信頼性を高める取り ました。私も実際に参加
めるべきである」と提案 組みを進め、全国的にも し、その様子を確認して
したことを受け、事業者 導入される事例が増えて まいりました。

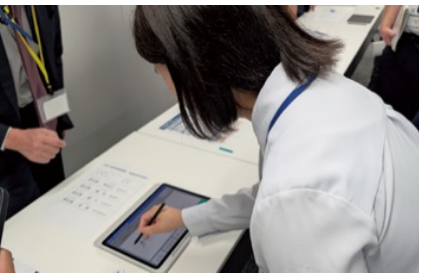
と県や市町村の選挙管理 きました。これにより、 「わかりやすい
委員会が参加したデモン 従事職員の大幅な削減 システム」との声も
ストレーション会が開催 や、開票時間の短縮と ます。

当日は、国で電子投票 を推進する総務省の職員 が電子投票の意義や現在の 状況について説明した のち、国が基準を満たし

市町村職員など 90名が参加

選挙の開票事務は、状 況によっては夜中遅くま で続くことが珍しくあり ません。この課題を解決 する一つの方策として、 私、県が中心となって
投票所に設置されたタブ 市町村と電子投票につい レット端末を用いて投票 て研究し、導入に向けて

を行う、電子投票の導入 の検討を進めていくこと た。参加者は事業者から が有効ではないでしょう の意義について、2月の のセキュリティや操作 か。現在の公職選挙法で 県議会本会議で提案しま 方法に関する説明を熱心 は地方選挙のみでしか認 した。県は検討を約束し に聞くとともに、実際の められていません。 その結果、去る5月27日 システム操作を体験しま



電子投票を体験する参加者

に電子投票のデモ ンストレーション 「初めて電子投票システ ムが開催されまし ムを操作したが、非常に わかりやすいシステムだ 者、県及び市町村 導入をするかについて、 の選挙管理委員会 今後検討を進めたい」な 委員や事務局職員 どの声がありました。 約90名が県庁に集 電子投票については、 まり、多くの報道 導入コストなど検討すべ き様々な課題があること など、関係者の高 は事実です。しかしなが



モットーは「まかせて安心!
いのちと生活を守る!鈴木ひでし。」

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、
公明党県議団団長などを歴任。文化スポーツ
観光常任委員会、議会運営委員会

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

らテクノロジーが進展し た今だからこそ、選挙事 務の抜本的な見直しの検 討は欠かせません。今回 のデモンストレーション 会を契機として、各市町 村における導入に向けた 検討や議論を推進してま